

## 新型インフルエンザ発生への対応について

平成21年8月5日

公立大学法人福島県立医科大学

平成21年8月5日、本学の男子学生が新型インフルエンザ陽性であることが、福島県により確認されました。

これに伴い、福島県新型インフルエンザ対策地域本部から感染拡大防止の要請があり、本学では、下記2のとおり対応することを決定しましたので、お知らせします。

### 1 経緯

新型インフルエンザの感染が確認された学生は、平成21年7月27日から8月1日まで京都で開催された国際学会に出席し、帰宅後、体調を崩し、8月4日に医大附属病院で診察を受けたところ、インフルエンザA型陽性と診断され、その後、県におけるPCR検査の結果、新型インフルエンザ陽性であることが確認されました。

医大附属病院では、当該学生の診療に当たっては、十分な感染防御策をとっていたため、院内における感染の可能性は低いと考えております。

また、同学会には、当該学生を含めて学生4名及び教員4名が参加しており、残りの学生3名のうち1名が同様の症状を示し、福島市内の医療機関で診察を受けたところ、インフルエンザA型陽性と診断されました。

なお、インフルエンザA型陽性と診断された2名の学生も回復に向かっており、他の学生2名、教員4名については、現在のところ発熱等の症状は示しておりません。

### 2 対応

- (1) 新型インフルエンザに感染した学生及び接触のあった教員、学生については、8月4日から1週間の自宅待機とし、自宅待機中は健康状態の管理を徹底するよう指示をしている。
- (2) 全学生に対しては、夏季休業中ではあるが、不要不急の登校を自粛するよう周知する。
- (3) その他の教職員については、通常通りの勤務とするが、附属病院も含めて、これまで以上にインフルエンザ対策を徹底する。

### 3 その他

医大附属病院については、救急や高度先進医療の診療を優先させるため、インフルエンザが疑われる場合には、新型インフルエンザ相談窓口にご相談のうえ、医大附属病院以外の最寄りの医療機関での受診をお願いします。